

今日も無事故 家族の笑顔



思い出に
いつも寄り添う

交通安全

過去の大切な思い出は、「交通安全」があったからこそ、笑顔で振り返ることができるものです。これからも「交通安全」とともに、旅行や趣味などの大切な思い出を積み重ねていきましょう。

— 高齢者交通事故防止活動にご支援をいただいております —

協
賛

JA 共済
県民共済
新潟県自動車販売店協会

公益財団法人 新潟県交通安全協会

高齢者の
歩行者・
自転車利用者

かえりみる交通安全

■省みる…反省する。
■顧みる…過去を思い起こす。

安全を確かめずに、

いきなり道路を

渡り始めて

いませんか？

省



夜間、

目立たない色の服装で

外出していませんか？

省

★夜間、特に黒っぽい色の服装をした歩行者や自転車利用者は、ドライバールに見落とされやすく、事故に遭う危険性が高まります。

★ある調査によると、夜間の事故で

死亡した歩行者のうち、反射材を

着用していた人はわずか3%ほど

しかいなかったそうです。

★外出時は、明るい色の服装で、反

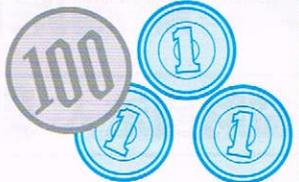
射材も着用して自分の存在をアピールしましょう。

★また、夜間は自転車のライトを必ず点灯しましょう。

顧

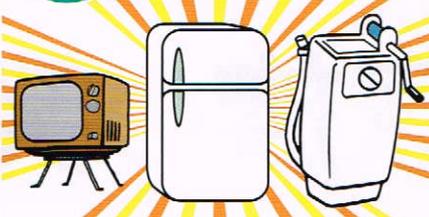
1989年 消費税(3%) 導入

◆高齢化社会に向けた財源確保のため、消費金額に対して3%が課税されることとなりました。



顧

1950年代後半
(家電)三種の神器



◆豊かな生活の象徴とされた『(白黒)テレビ』、『洗濯機』、『冷蔵庫』の家電3品目が「三種の神器」と呼ばれ、一般家庭にも普及し始めました。

★高齢者の歩行中の事故は、道路横断中に多発しています。

★横断中の事故を防ぐためには、

①横断前に一度立ち止まる

②右左をよく見る

③車がきていたら通りすぎるまで待つ

という『三種の神器』が欠かせません。

「急いでいるから」と、

交差点での安全確認を

おろそかにしていませんか？

顧

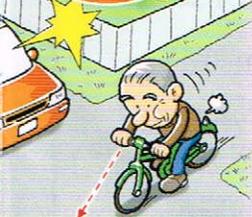


前かがみの姿勢で、

目線を下げたまま

通行していませんか？

省



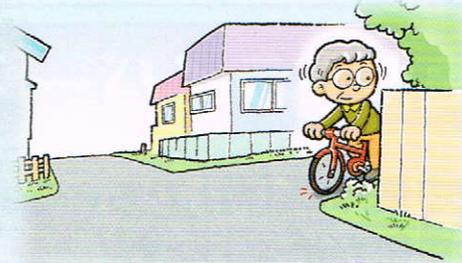
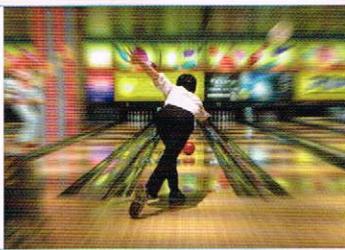
顧



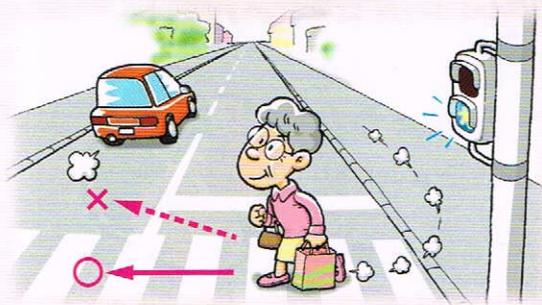
1970年代前半

ボウリングブーム

◆女性プロボウラーの活躍や、ドラマ・CM放送などの影響により、ボウリングがブームとなりました。



- ★近くに横断歩道があるのに、横着して横断歩道以外の場所から横断すると、車のドライバーから見落とされる危険があります。
- ★多少遠回りでも、その横断歩道を利用して渡りましょう。
- ★ボウリングと同じく、レーン（横断歩道）からはみ出さないうで横断することも安全の秘けつです。



近くに横断歩道があるのに、
それ以外のところから
横断していませんか？

- ★自転車の事故は「信号がない交差点」で多発しています。
- ★「急いでいるから」「面倒だから」と、交差点での一時停止を怠ると、事故に遭う危険性が高まります。
- ★気持ちは超特急でも安全が第一、たとえ「止まれ」の標識がなくても、一時停止して右左の安全を確かめる習慣をつけましょう。

1964年 東海道新幹線開業

◆時速200キロ以上で走行する新幹線は「夢の超特急」といわれましたが、速度だけでなく、乗り心地や安全面においても非常に高い水準が確立されています。



2000年代 インターネットの普及拡大

◆パソコンや携帯電話の普及に伴い、回線の高速化や機能の充実が図られました。情報の検索やメールの送受信のほか、買い物や一部の行政手続きもできます。



青信号のとき、周りを見ずに
横断していませんか？

- ★「青信号だから安全…」と油断して安全確認を怠り、横断中、交差点を曲がってきた車にはねられる事故が少なくありません。
- ★信号の意味を検索すると、青信号は「進め」ではなく「進むことができる」であり、無条件に安全を保証するものではないことがわかります。
- ★青信号で横断するときも、必ず自分の目で安全を確かめることが大切です。



1990年代前半 日本人初の宇宙飛行



- ◆1990年、男性ジャーナリストが日本人として初めて宇宙へ飛び立ちました。
- ◆1992年には、日本人初のスペースシャトル搭乗者も誕生しています。

- ★前かがみの姿勢で歩いたり、自転車に乗ったりしていると、視野が狭くなって、車などの危険の発見が遅れます。
- ★意識的に背すじを伸ばして、顔を前方に向ければ、宇宙の果てまでは見えないまでも、近づいてくる車などは確認しやすくなりますので、ぜひ実践しましょう。

